

## 「スパニッシュ・ダンサー」の異名をもつ赤色の鮮やかなウミウシ ミカドウミウシを展示します

大阪市港区の海遊館に隣接する天保山マーケットプレースで開催中の「海の宝石 ウミウシ展」では、平成 27 年 12 月 29 日（火）から、高知県土佐清水市以布利で収集したミカドウミウシ（体長 20cm、1 個体）を展示します。ミカドウミウシは、ウミウシの仲間では大型の種類で、通常体の長さが 10cm から 30cm ほどあり、60cm にもなることが知られています。また、ミカドウミウシは水中で体をくねらせて泳ぐことがあり、その姿がフラメンコの踊り子のように見えることから「スパニッシュ・ダンサー」と呼ばれます。

今回展示するミカドウミウシは、平成 27 年 12 月 25 日に、高知県土佐清水市以布利の沖合に設置された定置網で発見されました。海中を泳いでいるうちに定置網に紛れ込んだと考えられますが、海遊館が研究所を設置し調査を行っている以布利の海でも発見例がとても少ない種類です。生きた姿を観察する機会は貴重であることから大阪海遊館海洋生物研究所以布利センターに搬入したのち、「海の宝石 ウミウシ展」で展示することにしました。



「海の宝石 ウミウシ展」は、ウミウシの飼育展示に特化した期間限定のコーナーで、平成 26 年 7 月 19 日から開催しており、現在約 20 種 100 点のウミウシをご覧ください。今回のミカドウミウシをはじめ、カラフルな姿と不思議な生態をもつウミウシの多様性に興味を持っていただけたらと考えています。

### 1. ミカドウミウシの展示

期 間 平成 27 年 12 月 29 日（火）～約 1 ヶ月間（予定、状態により終了する場合があります）

※展示時間は、天保山マーケットプレースの営業時間に準じます

※ 年末年始も開催、ただし平成 28 年 1 月 13 日、14 日と 2 月 17 日、18 日は休館日です

場 所 天保山マーケットプレース 3 階「海の宝石 ウミウシ展」

料 金 観覧無料

## 2. ミカドウミウシについて

和名 ミカドウミウシ 学名 *Hexabranthus sanguineus* 英名 Spanish dancer

日本では千葉県から南西諸島で見られる大型のウミウシの仲間。赤色の体色と広げるとスカートのようにひらひらとした体の縁が特徴で、体をくねらせて泳ぐ姿から英名で「スパニッシュ・ダンサー」と呼ばれます。和名の「帝海牛」は、ウミウシの研究者であった昭和天皇に献上されたことから名づけられたと言われています。



赤い体色と広げるとひらひらした体の縁が特徴



体をくねらせて海中を泳ぐことがある

## 3. 「海の宝石 ウミウシ展」について

期 間 開催中～平成 28 年 4 月 10 日（日）終了予定

時 間 11：00～20：00 ※天保山マーケットプレースの営業時間に準じます

場 所 天保山マーケットプレース 3 階

料 金 観覧無料

展示種 (予定) アオウミウシ、アカエラミノウミウシ、ムカデメリベ、シラヒメウミウシなど  
※種を入れ替えながら展示を行います。時期により展示種が異なります。



【アオウミウシ】体長約 3cm

青、赤、黄色の色彩が美しく、人気のあるウミウシ。

ウミウシの触角は水中の化学物質を感知するため、この部分でおいをかいていると言えます。お尻のところにある花びら状の器官は二次えらと呼ばれ呼吸をします。



【コノハミドリガイ】体長約 3cm

光合成を行う生態が非常に珍しいウミウシ。海藻をエサにし食べた葉緑体を用いて光合成を行い、栄養を得ることができます。地球上の動物の中で、共生細菌などの力に頼らず自分で光合成をできるのはコノハミドリガイなど一部のウミウシ類だけと言われています。



【ムカデメリベ】体長約 7cm

体の形が非常にフシギなウミウシ。やや大型で、背中に大きな突起が並んでいます。大きな口を覆いかぶせるように使って、ヨコエビなどの小さな甲殻類を食べます。